

Pioneer

HELPNETキット

ND-HELP1

取扱説明書

carrozeria

目次5ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意



警告

[接続・取り付け]

前方の視界や安全装置、運転の妨げになる場所へは取り付けない



禁止

前方の視界を妨げる場所やエアバックなど安全装置の妨げになる場所、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないように配置する



禁止

コード類は、運転操作の妨げとならないよう配置し、粘着テープなどで固定してください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

コード類は、決して途中で切断しない



禁止

コード類は、決して途中で切断し短くして使わないでください。もしものときに保護回路が働かなくなり火災の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触する所は、粘着テープを巻く



禁止

コード類の配線時に金属部と接触する所は、必ず粘着テープを巻き被覆を保護してください。火災・感電の原因となります。

[使用方法]

分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり、改造しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

作業中はバッテリーの⊖端子を外す



禁止

接続・取り付けの作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない





禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

注意

[接続・取り付け]

<p>取り付け、配線は、販売店に依頼する</p> <p> 注意</p> <p>取り付け、配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。</p>	<p>必ず付属の部品を指定通りに使用する</p> <p> 必ず行う</p> <p>必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険で</p>
<p>水がかかる所やほこりの多い所に取り付け ない</p> <p> 水ぬれ禁止</p> <p>ドア近くなど雨水がかかりやすい所やほこりの多い所への取り付けは、避けてください。水やほこりが混入しますと発煙や発火・感電の原因となることがあります。</p>	<p>振動の多い所や不安定な所に取り付けない</p> <p> 禁止</p> <p>振動の多い所や不安定な所への取り付けは、避けてください。外れて事故やケガの原因となることがあります。</p>
<p>天井など不安定な所に取り付けない</p> <p> 禁止</p> <p>天井など不安定な所に取り付けるなど、正しい設置を行わないと、落下などの原因となることがあります。</p>	<p>正しく接続する</p> <p> 必ず行う</p> <p>この取扱説明書で指定された通りに正しく接続を行わないと、火災や事故などの原因になります。</p>
<p>コード類は、座席レールなどにかみ込まない ように配置する</p> <p> 注意</p> <p>コード類は、座席レールなどの動く部分にかみ込まないように配置し、粘着テープなどで固定してください。ショート事故による火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>車載用以外は使用しない</p> <p> 禁止</p> <p>車載用として以外は、使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。</p>

目次

はじめに	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
	接続	6
	取付	7
	はじめに	8
	各部の名前とおもな働き	8
	ヘルプネットとは	9
	サービスの流れ	10
	ヘルプネットを利用するための準備	11
通報	緊急通報	12
	通報する	12
点検	システムの点検	13
	自動保守点検	13
	手動保守点検	13
付録	付録	15
	ヘルプネットの利用をやめる	15
	ナビゲーション本体を変更されたとき	15
	廃車や転売をしたとき	15
	表示灯について	16
	ヘルプネット使用上のご注意	17
	携帯電話使用上のご注意	18
	緊急通報できなかった場合	20
	故障かな？と思ったら	21
	エラー表示	22
仕様	23	

接続

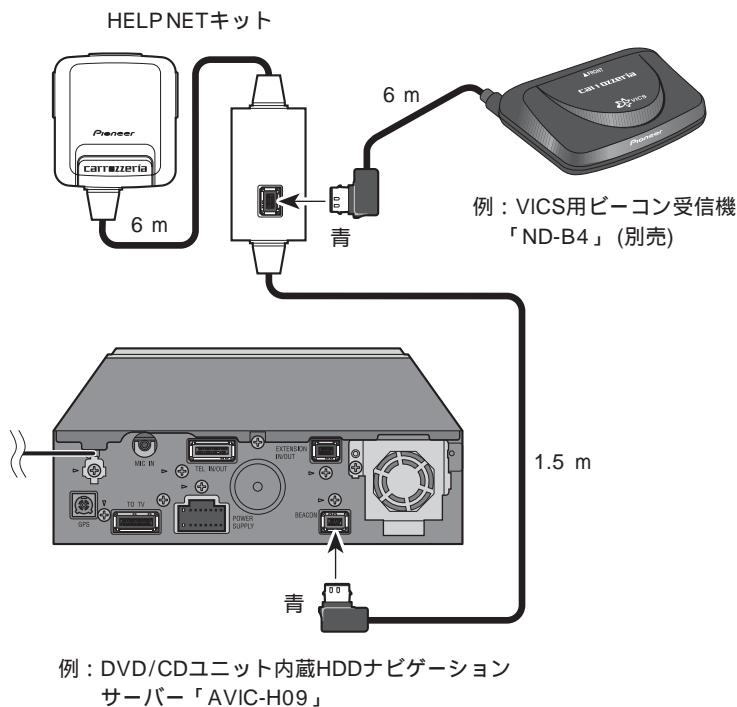
コネクターの脱着のしかた

コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って左右のロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続図



取付

取り付けのポイント

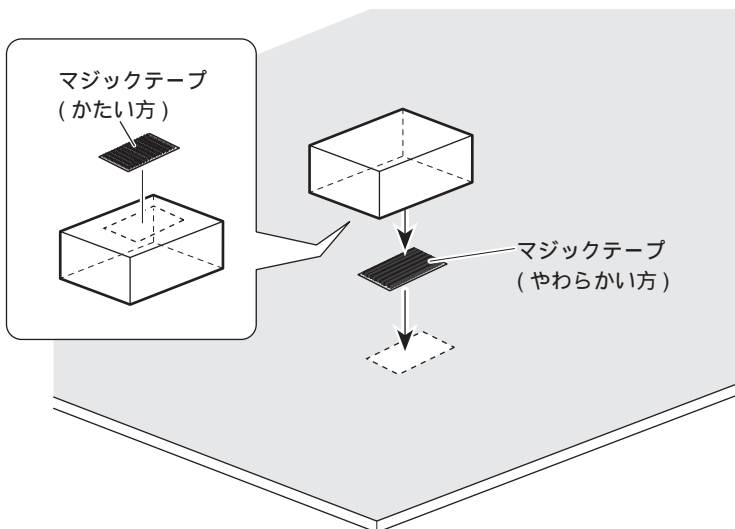
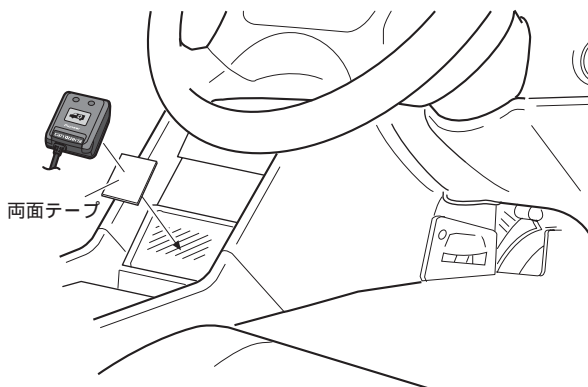
取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に接続されていることをナビゲーションの[接続状態]画面より確認してから、取り付けを行ってください。[接続状態]画面の緊急通報ユニットにて[NG]と表示された場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

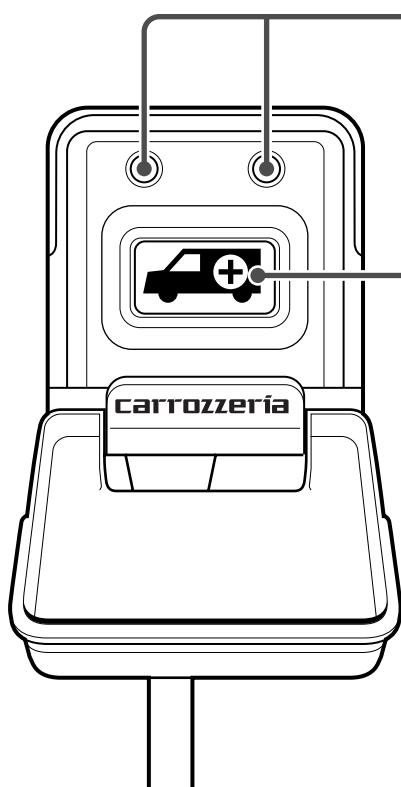
マジックテープや両面テープを貼り付ける場所は、汚れをよくふきとってください。

取り付け



はじめに

各部の名前とおもな働き



表示灯（緑/赤）（ 16ページ）

点灯や点滅をして、システムの動作状態を知らせます。

緊急通報ボタン（ 12ページ）

緊急事態が発生したときに押します。車の位置関連情報や車載機IDがヘルプネットオペレーションセンターに送られます。

ヘルプネットとは

ヘルプネットとは、新しい緊急通報システムの会員制サービスです。緊急事態発生時に迅速な対応を行うことができます。

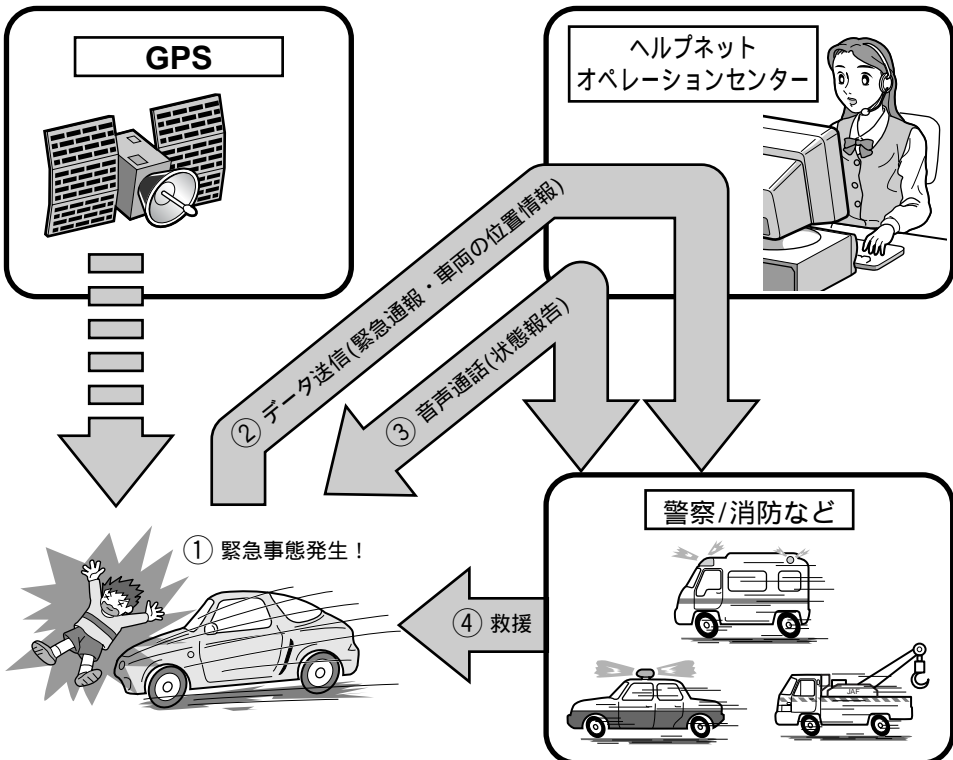
事故や急病、およびその他の緊急事態が発生した場合、簡単な操作で自動的に車の現在地などの情報をヘルプネットオペレーションセンターに通報することができ、警察や消防などへの連絡等、迅速な対応をとることができます。

ドライバーは、ヘルプネットオペレーションセンターにアクセスすることにより、正確で迅速な救援活動を受けることができます。

i ・本機は交通事故時の通報を目的としていないため、下表のような仕様になっています。

機能	対応
交通事故時の自動通報	不可
交通事故時の手動通報	事故時の衝撃による破損などに対する動作補償はいたしません。
交通事故以外の手動通報	可

・ヘルプネットサービスは会員の方の意思に基づき、警察や消防などへの関係機関に接続を行うサービスであり、ヘルプネットが直接救援活動を行うものではありません。



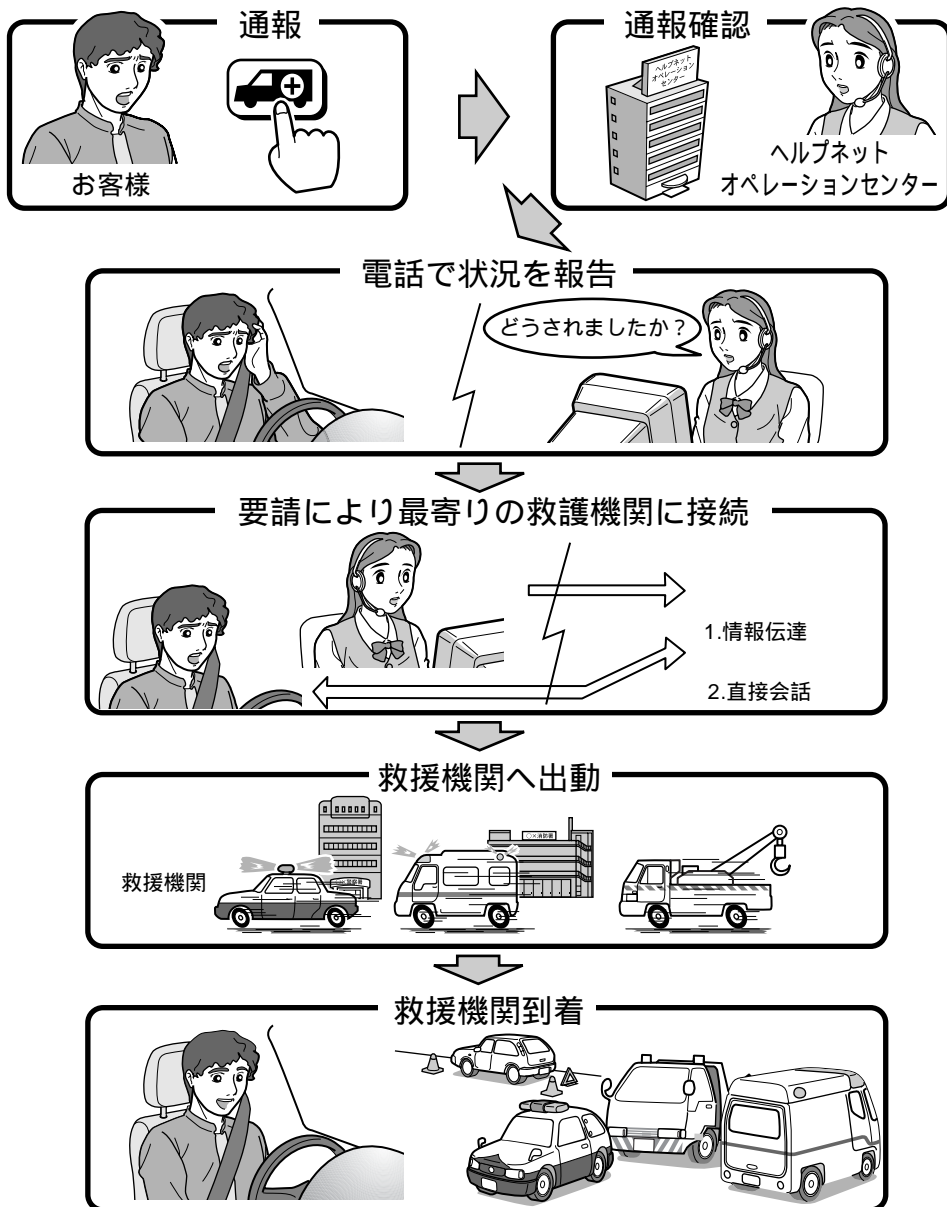
ヘルプネットとは

ヘルプネットは、(株)日本緊急通報サービスの商標です。

サービスの流れ

ヘルプネットでは、以下のような流れでサービスが提供されます。

➡ 具体的な手順は、「通報する」(12P)を参照してください。



ヘルプネットを利用するための準備

ヘルプネットは、有料の会員制サービスです。ヘルプネットを利用するには、(株)日本緊急通報サービスへ入会申込書を送付して、その後、サービス開始操作をします。(会員登録が完了したらヘルプネットセンターより会員書通知がお客様に発送されます。)

1 同梱されている入会申込書に必要事項を記入して、同梱されている封筒で郵送する

折り返し、会員登録通知が送られてきます。内容を確認してください。

- ① 車載機のIDを確認し、入会申込書に記入してください。ナビゲーションの「ヘルプネット情報」画面をご確認ください。

2 サービス開始操作をして、「緊急通報発呼」が「OK」になっていることを確認する

13ページの「手動保守点検」の操作をご覧ください。(サービス開始操作は手動保守点検と同様の操作となります。)

- ① 会員登録されるまではヘルプネットサービスを受けることはできません。会員書通知が送られてくるまでお待ちください。
- 手順2のサービス開始操作を行わないとヘルプネットサービスは受けられません。必ず行ってください。
- サービス開始操作は、可能なかぎり見晴らしの良い場所で行ってください。
- ② ナビゲーションの「衛星測位状態」画面をご確認ください。

緊急通報

通報する

エンジンスイッチがACCまたはONのときに緊急通報を開始します。

1 緊急事態が発生したら、を押す



緊急通報をしていることや車両の現在の情報がヘルプネットオペレーションセンターに送られます。



その後ヘルプネットのオペレーターと通話できる状態になります。



2 状況を説明する

オペレーターは着信データを見ながら通信者に応じます。また要請により最寄りの救援機関窓口に電話回線を接続します。

通話が終了するとオペレーターが電話回線の切断を行います。

i 自分から[オンフック]ボタンにより通話を切った場合は、自動着信待ち(呼び返し待機)にならない場合があります。

通話終了後、約10分間自動着信待ちの状態となります。このあいだにオペレーターや救援機関から電話がかかって来た場合は、自動的に電話回線につながります。



- i** 自動着信待ち後オペレーターまたは救援機関から電話がかかって来た場合は、詳細な位置確認をします。
- オペレーターや救援機関との通話はハンズフリーまたは、携帯電話から行なえます。
- 緊急通報を行う際の電話料金はお客様のご負担となります。
- 緊急通報開始するときに、通常の電話として使用中の場合は、その通話は自動的に切られます。
- 呼び返し待機中はナビゲーションのメニュー操作は行なえません。

システムの点検

自動保守点検

ヘルプネットサービスが正しく受けられるように、(株)日本緊急通報サービスが定める期間ごとに自動的に保守点検が行われます。

1 エンジンをかける

次回保守点検予定日以降に携帯電話を接続しエンジンをかけた場合、10分後に、自動的に自動保守点検が始まり、ヘルプネットオペレーションセンターに電話をかけます。



自動保守点検が終了すると、自動的に電話は切れます。



- ① 自動保守点検が行われる際の電話料金は、お客様のご負担となります。
- 自動保守点検は、電話を利用して行われます。このため、自動保守点検中は、通常の電話としては使えません。
- 自動保守点検開始するとき、通常の電話として使用中の場合は、約10分後に再び行われます。

手動保守点検

ヘルプネットに加入したとき(サービス開始操作)や退会したときは、以下の操作を行って、車載機の保守点検と緊急通報発呼の可(OK)/不可(NG)の確認をしてください。

1 **メニュー** - **情報・通信** - **ハードウェア情報** を選んで **決定** を押す

2 **ヘルプネット情報** を選んで **決定** を押す

3 もう一度 **決定** を押す

4 **OK** をしばらく(手動保守点検が開始されるまで)押し続ける

手動保守点検が開始されます。画面の指示に従って、点検作業をすすめてください。

① **OK** を短かく押すと、緊急通報が開始されます。



手動保守点検をしていることや車両の現在の地の情報がヘルプネットオペレーションセンターに送られます。



つづく >>

その後ヘルプネットのオペレーターと通話できる状態になります。



オペレーターと通話します。

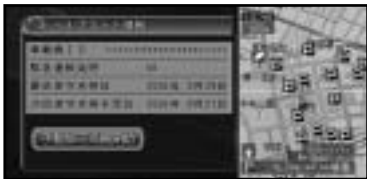
通話が終了するとオペレーターが電話回線の切断を行います。



5 **決定**を押す

6 **メニュー** - **情報・通信** - **ハードウェア情報**を選んで**決定**を押す

7 **ヘルプネット情報**を選んで**決定**を押す
ヘルプネット情報画面が表示されます。



8 緊急通報発呼の可(OK)/不可(NG)を確認する

- ヘルプネットに加入した場合は (サービス開始操作) 「緊急通報発呼」が「OK」になっていることを確認してください。
- ヘルプネットから退会した場合は 「緊急通報発呼」が「NG」になっていることを確認してください。

- i**
- 手動保守点検を行う際の電話料金は、お客様のご負担となります。
 - 手動保守点検は、電話を利用して行います。このため、手動保守点検中は、通常の電話としては使えません。
 - 手動保守点検を開始するときに、通常の電話として使用中の場合は、その通話は自動的に切られます。

ヘルプネットの利用をやめる

ヘルプネットから退会するには、(株)日本緊急通報サービスへ契約申込書(解約を選択)を送付します。数日後(株)日本緊急通報サービスより手続完了確認の通知が郵送されます。手動保守点検(13P)をして、ヘルプネット情報画面で緊急通報発呼が「NG」になっていることを確認します。

- ① 手動保守点検をしても、緊急通報発呼が「NG」にならない場合は、販売店にご相談ください。
- 手動保守点検をし忘れた場合、自動保守点検時にサービスが停止されます。
- ② 緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話料金は、お客様のご負担になります。
- 手動保守点検は、電話を利用して行います。このため、手動保守点検中は、通常の電話としては使えません。

ナビゲーション本体を変更されたとき

ナビゲーション本体に個別の車載機IDが格納されていますので、必ず(株)日本緊急通報サービスへ契約申込書(車載機変更を選択)をご送付ください。

現在使っているナビゲーション本体
契約申込書を送付後、自動で使用できないようになります。

新しいナビゲーション本体
取扱説明書を確認の上、サービス開始操作を行ってください。

廃車や転売をしたとき

- ① 本機をお譲りになったあとでも、契約者の責任においてヘルプネットの退会などの申請がない限り、ヘルプネットや電話の基本使用料などの諸費用が請求されます。本機をお譲りになる場合は、必ず、解約手続きをお取りください。
- 本機を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず、本取扱説明書も合わせてお渡しください。
- 新たなナビゲーション本体でご契約を継続する場合は、「ナビゲーション本体を変更されたとき」を参照してください。
- そのままヘルプネットの利用をやめる場合は、「ヘルプネットの利用をやめる」を参照してください。

表示灯について

ヘルプネット(本機)の動作状態は緑と赤の表示灯で、以下のようにお知らせします。

表示灯		システムの状態	対処方法
緑	赤		
 点灯	 消灯	動作できるとき (携帯電話サービス圏内)	緊急通報および電話がご利用になれます。
 消灯	 点灯	動作できないとき (携帯電話サービス圏外)	携帯電話サービス圏内に移動して使用してください。
		装置に異常があるとき (携帯電話サービス圏内)	携帯電話サービス圏内で、いつまでもこの表示が続く場合は、機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
 点滅	 消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了すると、表示が変化しますので、そのままお待ちください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了すると、表示が変化しますので、そのままお待ちください。
 消灯	 点滅	緊急通報に失敗したとき	約10秒間表示します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		何回も連続して自動保守点検に失敗したとき	手動保守点検をしてください(13P)。それでも表示が続く場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	携帯電話サービス圏内に移動してから、再度手動保守点検を行ってください。(13P)
		装置に異常があるとき	いつまでも正常な状態に戻らない場合は、機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
 点灯	 点灯	エンジン始動時の保守点検中のとき	保守点検(約5秒間)が終了すると、表示が変化しますので、そのままお待ちください。表示中は緊急通報は利用できません。
		装置に異常があるとき	いつまでも正常な状態に戻らない場合は、機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
 消灯	 消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	ヘルプネットサービスに入会してください。
		ナビゲーション本体が動作していないとき	エンジンスイッチをACCまたはONにしてもこの状態が続く場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

① 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、退会の手続きを取っていない中古車などに搭載された車載機を使用する場合は、ヘルプネットに入会していても緊急通報可能状態として表示することがあります。

ヘルプネット使用上のご注意

安全運転を心がけてください。

本機は、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護や事故防止の機能を持つものではありません、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。

事故発生時は人命救助を最優先にしてください。

事故が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。

本機はエアバッグと連動していないため、事故発生時、エアバッグが作動しても通報されません。このような場合には「緊急通報ボタン」による緊急通報をしてください。

本機は、衝撃を受け、機器（ナビゲーション、携帯電話回線に接続する機器、アンテナおよび、これらを接続する電気配線）に異常または損傷がある場合、緊急通報および通話できないことがあります。

緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットオペレーションセンターと通信できない場合があります。

事故発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは車内にとどまらずに、ただちに安全な場所へ避難してください。

緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的に車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で安全な場所を確保してください。

高速道路での事故など車外への避難の際には、携帯電話のON/OFFに関係なく車載機から取り外して身につけてお待ちください。但し電源の確認をしてOFFであれば、再度電源をONにしてください。

安全のため、走行中は「緊急通報ボタン」による緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながる恐れがあります。「緊急通報ボタン」による緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

ヘルプネットサービスの契約期間が終了している場合は、緊急通報できません。ヘルプネットサービスを継続してご利用になる場合には、契約更新の手続きをしてください。契約期間が終了している場合および機器が故障している場合は緊急通報できません。会員登録時のサービス開始操作が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあります。会員登録を行う際のサービス開始操作時に、ナビゲーションが、正常に動作しない、または表示灯が正常に行われない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

下記の温度範囲以外では緊急通報、電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。動作温度範囲：-10 ~ +60

事故発生時、火災発生などの危険がある場合および、車外に避難するときはパーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチをLOCKにしてください。

実際の事故発生地点とセンターに通報される位置には多少の誤差が発生することがあります。事故発生地点や目標物についてはヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。

手動保守点検は、正確に位置情報を送れることの確認をします。手動保守点検はビルの谷間や工場等の屋内は避け、GPSを受信でき、かつ携帯電話の電波状態が良好な見晴らしのよい場所で行ってください。

つづく 

緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーおよびマイクに故障不具合などがあると、ヘルプネットオペレーションセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは必ず、お買い上げの販売店にご相談ください。

表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しない場合があります。例えば、解約時の処理を行っていない中古車などに搭載されたナビゲーションを使用する場合は、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

会員登録を解約するときの手動保守点検後、表示灯が消灯しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

誤通報やいたずらが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関して請求や関連法規により処罰されることがあります。誤通報または、いたずらをしないようにしてください。

ナビゲーションのGPS部から位置情報を取得しています。GPSについての解説は、ナビゲーションの取扱説明書をお読みください。ナビゲーションが正常に動作しない場合（発信しない、通報位置とセンターでの位置表示が間違っている、音声通話できない）、緊急時にセンターへ正しい情報が伝わらず本来のサービスが提供できない可能性があります。手動保守点検（サービス開始操作）後、緑の表示灯が点灯しない場合、緊急通報は動作しません。

ナビゲーションが正常動作しない場合や手動保守点検（サービス開始操作）後、表示灯が点灯しない場合、表示灯は点灯したが音声通話できない場合は販売店にご相談ください。

携帯電話使用上の注意

携帯電話サービス圏内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難なことがあります。この場合は、事故発生時にヘルプネットオペレーションセンターと回線が接続されてもヘルプネットオペレーションセンターと通信できず、救援要請の通報および通話できません。緊急通報できない場合は、最寄りの公衆電話などから通報してください。

以下の場合、緊急通報できません。緊急通報できなかった場合は、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 携帯電話サービス圏外でご使用の場合「緊急通報ボタン」によって、緊急通報が開始されても、緊急通報はできません。
- 携帯電話が接続されていない場合
- 携帯電話の電源が入っていない、または、バッテリーがない場合
- 携帯電話が本システムに適合していない場合
- 携帯電話の料金を滞納している場合
- 機器（ナビゲーション、携帯電話回線に接続する機器、アンテナおよびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷がある場合
- ヘルプネット未契約または、契約期限が切れている場合

緊急通報時は、ヘルプネットオペレーションセンターへの回線接続を繰り返して行いますが、電波状態等の理由で回線接続ができない場合は「通信エラーのため、通報できませんでした。電話の状態を確認して緊急通報ボタン押すか最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください」という音声案内が流れ、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合は、最寄りの公衆電話などから通報してください。

電話料金を滞納している場合は、緊急通報できません。

電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

「緊急通報ボタン」による緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信や通話時の電話使用料は、お客様のご負担となります。

ナビゲーションに携帯電話の型式の指定がある場合は、指定された携帯電話を接続してください。

指定外の携帯電話を使用すると、緊急通報が動作しないだけでなく、携帯電話本体の破損等など、故障の原因になる場合があります。ナビゲーションに携帯電話を接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報は動作しません。ナビゲーションには携帯電話の充電および給電機能はありません。

手動保守点検中は電話の使用ができなくなるため、電話を使用する動作(電話をかける)はできなくなります。この場合、手動保守点検が終了してから操作してください。

携帯電話の機種によっては、エンジンキーONで表示部の照明がついたままになることがあります。この場合は携帯電話の照明をOFFに設定して下さい。(設定については携帯電話の取扱説明書を参照してください。)
携帯電話の下記機能を解除して下さい。(設定の解除については携帯電話の取扱説明書を参照してください。)

- (a) ダイヤルロック
- (b) ダイヤル発信禁止
- (c) ドライブモード/マナーモード
- (d) メモリ着信拒否、メモリ着信許可
- (e) 着信転送
- (f) 留守番電話
- (g) 発信者電話番号非通知

(a)~(b)を解除しないと、センターに電話できないため、緊急通報は動作しません。

(c)~(g)を解除しないと、センターや救援先からの呼び返し¹ができず、救援困難となる可能性があります。

その他にも、各通信事業者が独自に設定している付加サービス(セレクトフォンなど)を受けていると緊急通報システムが正常に動作しない場合があります。

¹緊急通報中に通話が切断された場合、緊急通報センターや救援先から通報者を呼び出すこと。

携帯電話接続ケーブルが携帯電話に正しく接続されていることを確認してください。

携帯電話接続ケーブルが接続されていないと、緊急通報は動作しません。

携帯電話接続ケーブルが正しく接続されていないと、走行中の振動や事故時の衝撃で携帯電話接続ケーブルが外れる恐れがあります。

緊急通報できなかった場合

契約の不成立または消滅

契約が締結出来ない場合

会費支払いに使用するクレジットの信用調査が不可となった場合など

以下の理由等により、契約の解除が実施された場合

申込時の虚偽申告の判明

会員規約の違反

サービスの不当利用

会費の不払いなど

契約が終了した場合

契約者からの解約申請が行われ、解約手続きが完了した場合

ナビゲーションまたは車両関連機器の異常による通信不能

車載機（ナビゲーション、携帯電話機、緊急通報ボタン、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障・不具合

バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・不具合

車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災等による、車載機又は車両関連機器の損傷

ナビゲーションの誤差による位置評定エラー

GPSの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きい場合、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きい場合など、位置評定が正常に行われぬまたは誤差が大きい場合。

ヘルプネットオペレーションセンターシステムの異常による通信不能

ヘルプネットオペレーションセンターシステムの故障・不具合など

ヘルプネットオペレーションセンターの火災等による、緊急通報センターシステムの損傷

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

本サービスに使用する自動車・携帯電話のサービス圏外に、“登録車両”が位置する場合携帯電話のサービス圏内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合

携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく輻輳した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果として緊急通報システムによる通信ができない場合通信事業者が大規模災害等により通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話が出来ない場合

本サービスに使用する携帯電話または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事等のため中断または休止された場合

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がヘルプネットオペレーションセンターに集中した場合

その他

接続した携帯電話が利用料不払いなどで発信出来ない場合

緊急通報で、ヘルプネットオペレーションセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無くヘルプネットオペレーションセンターとして状況把握が出来ない場合（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障かな?と思ったら

症状	原因	処理
ヘルプネットの情報画面で「緊急通報発呼」が「OK」にならない。	会員登録時のサービス開始操作が行われていない可能性があります。	手動保守点検(13P)を行ってください。
ヘルプネットオペレーションセンターに接続できない。	携帯電話がダイヤルロックされている。	ダイヤルロックを解除してください。
	電波状態が悪い	最寄りの公衆電話などから通報してください。
	携帯電話サービス圏外にいる	最寄りの公衆電話などから通報してください。
	携帯電話回線が混雑している	最寄りの公衆電話などから通報してください。

エラー表示

メッセージ	メッセージが表示されるとき	対処
「緊急通報には携帯電話が必要です。携帯電話を接続して下さい。」	起動時に、携帯電話が接続されていないとき	携帯電話を接続してください。
「携帯電話がロックされていますので、緊急通報が出来ません。ロックを解除して下さい。」	起動時に、携帯電話がロックされているとき	携帯電話のロックを解除してください。
「現在の携帯電話は緊急通報には使用できない機種です。携帯電話を交換して下さい。(取扱説明書をご参照下さい)」	起動時に、未対応機種の携帯電話が接続されているとき	対応している携帯電話を接続してください。
「携帯電話がロックされている為、通報できません。ロックを解除して、もう一度、緊急通報ボタンを押して下さい。」	発信時に、携帯電話がロックされているとき	携帯電話のロックを解除してください。
「現在接続されている携帯電話は緊急通報には使用できない機種です。最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡して下さい。」	発信時に、未対応機種の携帯電話が接続されているとき	対応している携帯電話を接続してください。
「通信エラーのため接続できませんでした。5秒後に再接続します。(秒数はカウントダウン表示されます)そのまま、お待ちください。」	通信エラーでリトライ待ちをしているとき	そのまま、お待ちください。
「圏外のため接続できませんでした。5秒後に再接続します。(秒数はカウントダウン表示されます)そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡して下さい。」	圏外でリトライ待ちをしているとき	そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
「携帯電話の発信規制のため接続できませんでした。5秒後に再接続します。(秒数はカウントダウン表示されます)そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡して下さい。」	携帯電話の発信規制のため、リトライ待ちをしているとき	そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
「緊急通報に失敗しました。電話の状態をご確認の上、緊急通報ボタンを押すか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡して下さい。「決定」を押して下さい。」	緊急通報に失敗したとき	電話の状態をご確認の上、緊急通報ボタンを押すか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
「圏外のため緊急通報に失敗しました。最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡して下さい。」	圏外のため、緊急通報に失敗したとき	最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
「携帯電話の発信規制のため緊急通報に失敗しました。最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡して下さい。」	携帯電話の発信規制のため緊急通報に失敗したとき	最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。

仕様

外形寸法

スイッチ部：

32 (W) × 42 (H) × 16 (D) mm

BOX部：

40 (W) × 45 (H) × 25 (D) mm

質量

300 g

付属品

取付キット：1式

取扱説明書：1

入会申込書：1

案内書：1

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2001

< KKNEF/01F00001 > < CZR3077-A >